

はじめに

この統計は、糸島市消防本部管内における、令和2年中の火災・救急・救助等に関し、今後の消防行政上の資料とするため作成したものです。

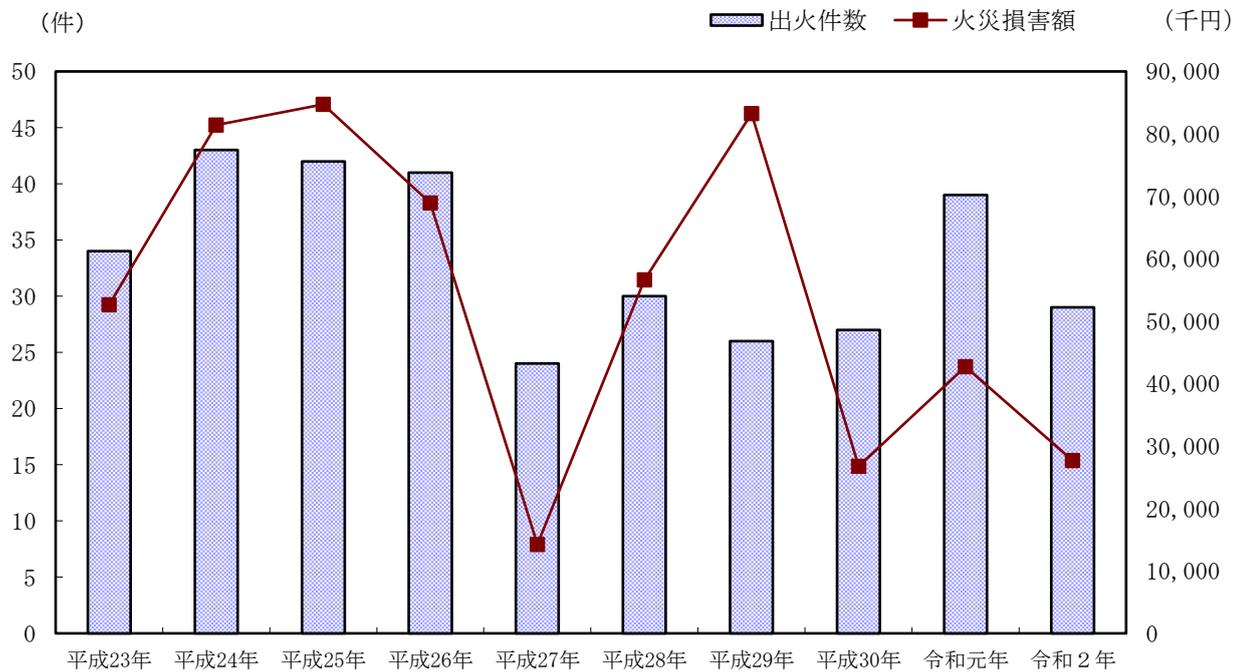
火 災 編

1 火災の推移

令和2年中の出火件数は29件、火災損害額は27,697千円で前年に比べ出火件数は10件減少し、火災損害額は15,035千円減少している。

最近10年間の平均出火件数は約34件、平均火災損害額は約53,899千円である。

最近10年間の出火件数と損害額の推移



年中 区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	10年間平均
出火件数	34	43	42	41	24	30	26	27	39	29	34
火災損害額 (千円)	52,639	81,424	84,727	68,928	14,257	56,603	83,230	26,751	42,732	27,697	53,899

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 火災の状況

令和2年中の出火件数29件は、およそ13日に1件の割合で火災が発生したことになる。

令和2年中の火災による死者は1人で前年に比べ1人増加、また、負傷者は1人で、前年に比べ2人減少している。

概況表

区分		年中	令和2年	令和元年	比較
出火件数	建物		16	21	△ 5
	林野		3	2	1
	車両		5	3	2
	船舶		0	1	△ 1
	その他		5	12	△ 7
	計		29	39	△ 10
損害額 (千円)	建物		26,804	39,865	△ 13,061
	林野		0	0	0
	車両		776	532	244
	船舶		0	1,753	△ 1,753
	その他		117	582	△ 465
	爆発		0	0	0
	計		27,697	42,732	△ 15,035
焼損面積等 (注)	建物	床面積 (㎡)	864	912	△ 48
		表面積 (㎡)	144	92	52
	林野 (a)	7	30	△ 23	
	車両 (台)	5	8	△ 3	
	船舶 (隻)	0	3	△ 3	
焼損棟数 (棟)			23	26	△ 3
り災世帯数 (世帯)			10	13	△ 3
り災人員 (人)			28	26	2
死者数 (人)			1	0	1
負傷者数 (人)			1	3	△ 2
1日平均発生件数			0.08	0.11	△ 0.03
1日平均損害額 (千円)			76	117	△ 41
1件当たり損害額 (千円)			955	1,096	△ 141
1人当たり損害額 (円)			270	420	△ 150
出火率 (件/人口1万人)			3	4	△ 1

(注) 1. 焼損表面積とは建物の焼損が部分的である場合をいう。(立体的に焼損が及ばなかった場合)

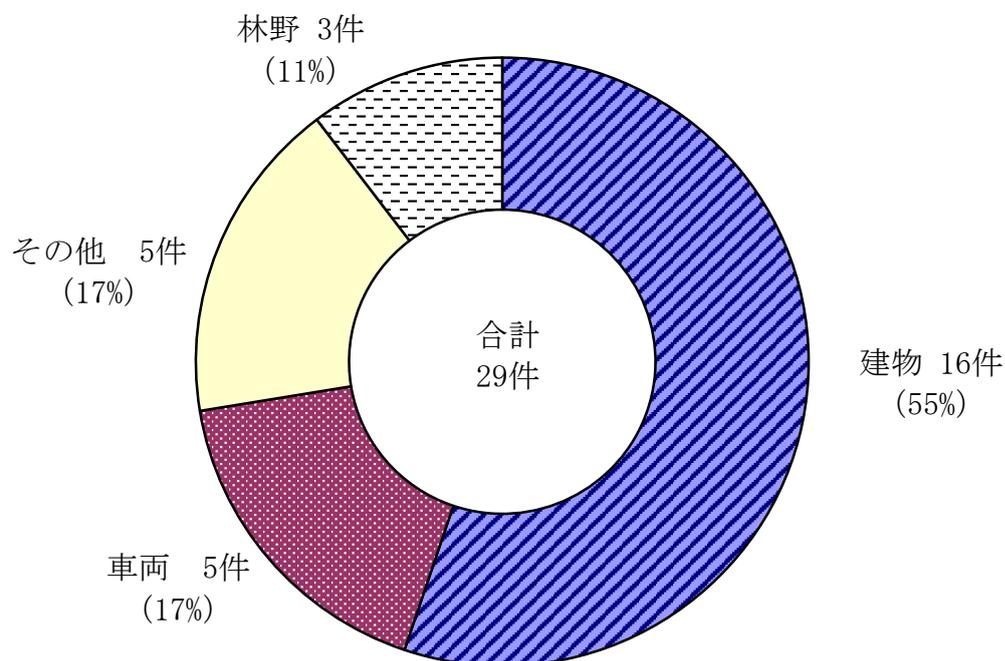
2. 1日平均発生件数は小数点第3位を四捨五入している。

(参考) 管内の人口は102,523人(令和2年12月末現在)

3 出火件数

令和2年中の火災種別による出火件数は、建物火災が16件で、全体の約55%を占め、次いで車両火災、その他の火災の順となっている。

火災種別出火件数



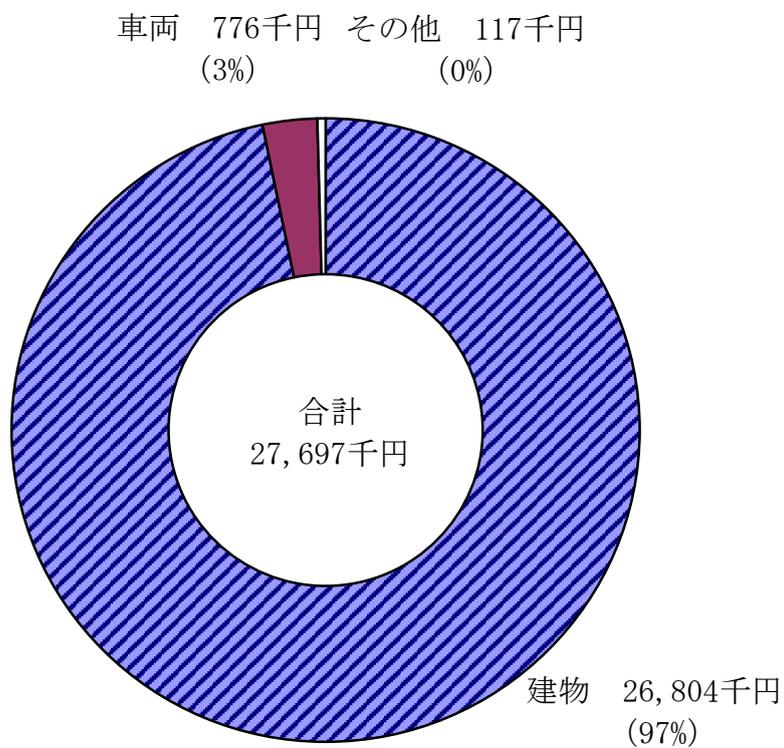
- (注) 1. 「その他の火災」とは、建物火災、林野火災、車両火災、船舶火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。
2. 端数にあつては、小数点以下を四捨五入している。（合計を100%とするため、林野の10.3%は小数点以下を繰り上げて11%としている。）

4 損害額

令和2年中の火災損害額は27,697千円で、前年に比べ15,035千円減少している。

損害額を火災種別でみると、下図に示すとおりである。

火災種別損害額



(注) 小数点以下を四捨五入しているため、火災種別のその他0.4%は表示上0%となる。

資料1 月別の火災状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数					り災程度				死傷者数		焼損面積等				
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (隻)
1月	5	4				1	6	4	1	1		2	1		1	2			358			
2月	3			2		1																2
3月	2	2					2			2									8			
4月	4	2	2				7	2		1	4	3			3	14			208	3		
5月	3	1	1	1			1				1	1			1	1				4	1	
6月	1					1																
7月	2	1				1	1	1									1		93			
8月	1	1					1			1									42			
9月	2			2																		2
10月	1	1					1	1											91			
11月																						
12月	5	4				1	4			3	1	3			3	11		1	64			
合計	29	16	3	5		5	23	8	2	7	6	9	1		8	28	1	1	864	7	5	

資料2 月別の火災損害額

区分 月別	損害額 (千円)								
	合計	建 物			林野	車両	船舶	爆発	その他
		小計	建物	収容物					
1月	12,100	12,021	10,069	1,952					79
2月	53					15			38
3月	32	32	32						
4月	4,636	4,536	3,195	1,341		100			
5月	145	19	18	1		126			
6月									
7月	3,129	3,129	2,501	628					
8月	2,647	2,647	2,647						
9月	535					535			
10月	3,175	3,175	3,135	40					
11月									
12月	1,245	1,245	833	412					
合計	27,697	26,804	22,430	4,374		776			117

資料3 月別原因別の出火件数

区分	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
こんろ													
たき火	1	1		2	1	1						1	7
放火							1						1
放火の疑い			1										1
たばこ	1												1
風呂かまど													
焼却炉													
煙突・煙道													
電気機器													
電灯・電話等の配線	1		1										2
配線器具					1								1
火あそび				1									1
マッチ・ライター													
溶接機・切断機													
火入れ													
かまど													
炉													
ストーブ													
こたつ													
ボイラー													
排気管													
電気装置													
内燃機関													
灯火													
衝突の火花													
取灰													
その他		1							1				2
不明	2	1			1								4
調査中				1			1	1	1	1		4	9
合計	5	3	2	4	3	1	2	1	2	1		5	29

資料4 校区別の出火件数

校区別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
波 多 江						
東 風			1			1
前 原	1					1
前 原 南	1					1
南 風					1	1
加 布 里	1					1
長 糸	1	1				2
雷 山			2			2
怡 土	2		1		1	4
一 貴 山	1				1	2
深 江	2		1			3
福 吉	1	1			2	4
可 也	2	1				3
桜 野	1					1
引 津	3					3
合 計	16	3	5		5	29

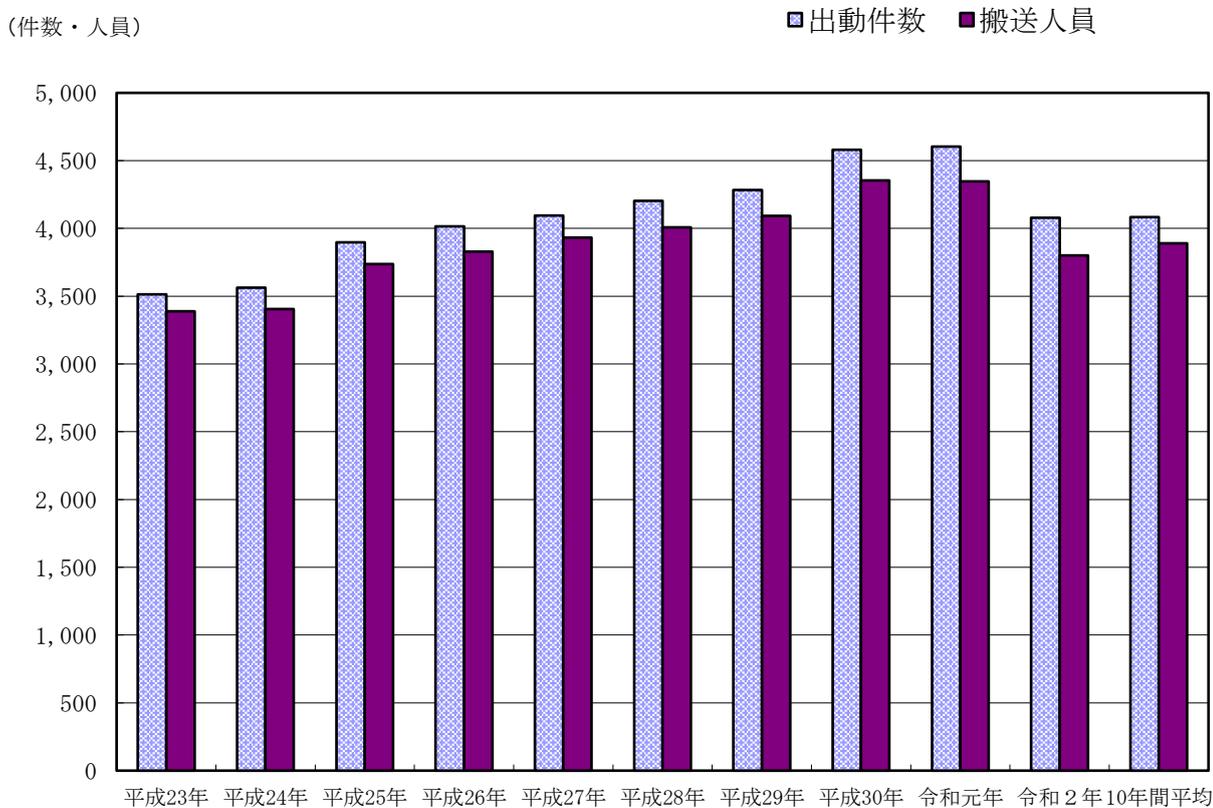
救急・救助編

1 救急出動件数の推移

令和2年中の救急出動件数は4,078件、搬送人員は3,800人で前年に比べ出動件数は526件減少、搬送人員は548人減少している。

最近10年間の平均出動件数は約4,083件、平均搬送人員は約3,889人である。

最近10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



年中 区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	10年間平均
出動件数	3,513	3,564	3,898	4,015	4,094	4,203	4,283	4,580	4,604	4,078	4,083
搬送人員	3,388	3,405	3,737	3,830	3,932	4,007	4,092	4,354	4,348	3,800	3,889

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 救急出動の状況

令和2年中の救急出動件数4,078件は、1日平均約11件出動したことになる。また、令和2年中の搬送人員3,800人は、住民の約27人に1人が搬送されたことになる。

概況表

区分		年中	令和2年	令和元年	比較	
出 動 件 数	急病		2,313	2,577	△ 264	
	交通		295	357	△ 62	
	一般負傷		713	729	△ 16	
	自損行為		31	35	△ 4	
	労働災害		30	35	△ 5	
	加害		5	14	△ 9	
	運動競技		19	31	△ 12	
	火災		10	5	5	
	水難		7	4	3	
	自然災害		0	0	0	
	その他	管内転院搬送(注1)		81	83	△ 2
		管外転院搬送(注1)		547	708	△ 161
		医師搬送		0	0	0
		その他		27	26	1
計			4,078	4,604	△ 526	
1日平均(注2)			11.1	12.6	△ 1.5	
不搬送			314	289	25	
搬 送 人 員	性別	男	1,933	2,184	△ 251	
		女	1,867	2,164	△ 297	
	計			3,800	4,348	△ 548
	程 度 別	死亡(注3)		6	3	3
		重症(注4)		385	412	△ 27
		中等症(注5)		2,166	2,433	△ 267
		軽症(注6)		1,242	1,500	△ 258
		その他(注7)		1	0	1
	計			3,800	4,348	△ 548
	1日平均			10.4	11.9	△ 1.5

(注) 1. 転院搬送とは、医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。(管内とは糸島市内、管外とは糸島市外への搬送をいう)

2. 1日平均発生件数は小数点第2位を四捨五入している。

3. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。

4. 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。

5. 中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。

6. 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

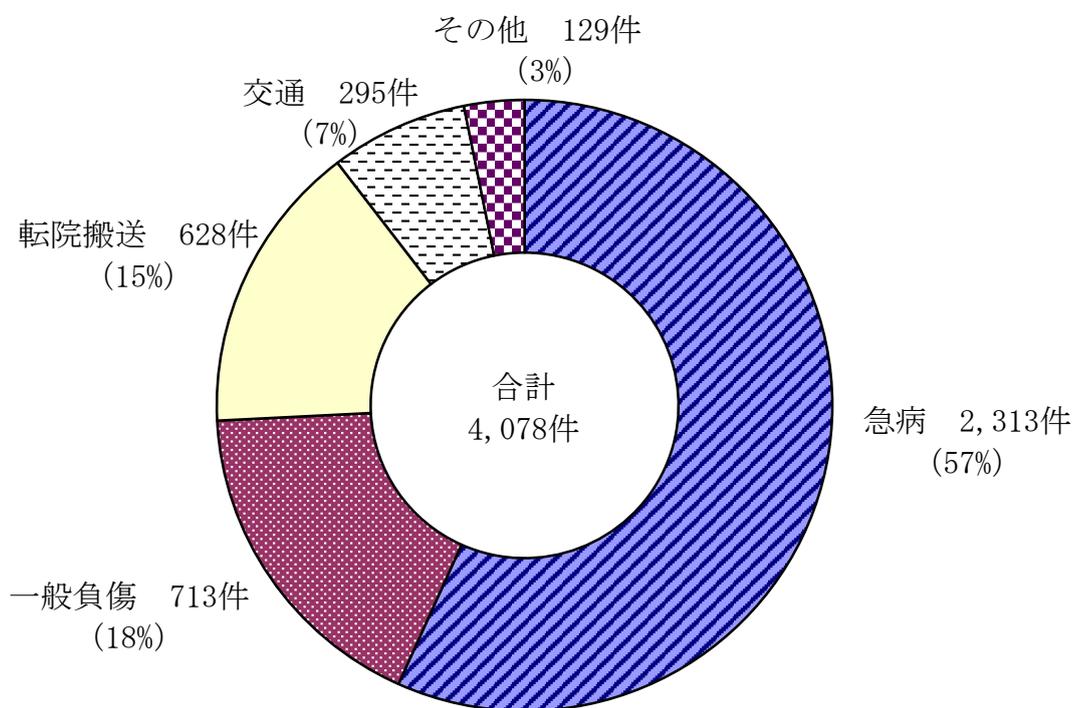
7. その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないものをいう。

(参考) 管内の人口は102,523人(令和2年12月末現在)

3 事故種別の救急出動件数

事故種別による救急出動件数は、急病によるものが全体の約57%で半数以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送の順である。

事故種別救急出動件数

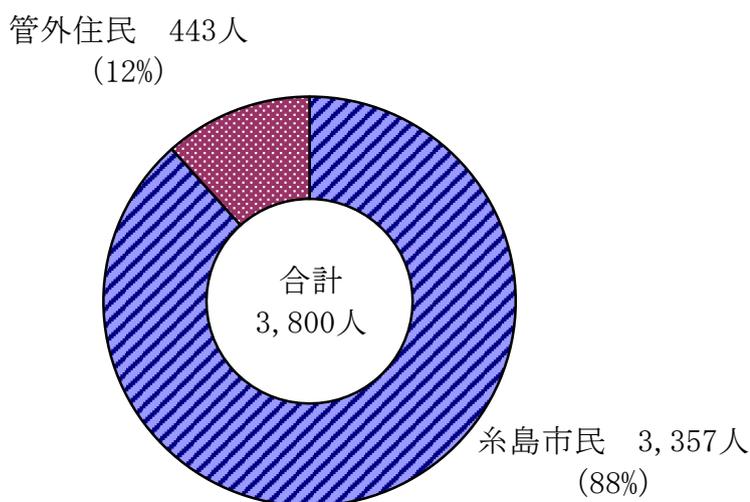


(注) 端数にあつては、小数点以下を四捨五入している。(合計を100%とするため、一般負傷の17.4%は小数点以下を繰り上げて18%としている。)

4 住所・傷病程度・年齢別の搬送人員

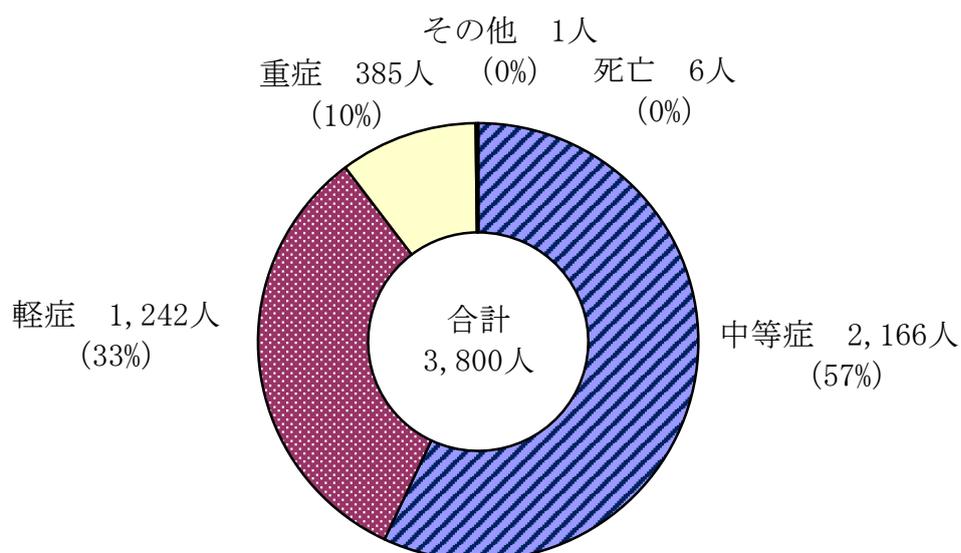
令和2年中の救急搬送人員を住所別にみると、糸島市民が3,357人で大多数を占め、管外住民が443人である。また、傷病程度別にみると、重症と中等症の合計が全体の約67%で、軽傷が約33%である。さらに年齢別でみると、65歳以上が全体の約64%を占めている。

図1 住所別の搬送人員



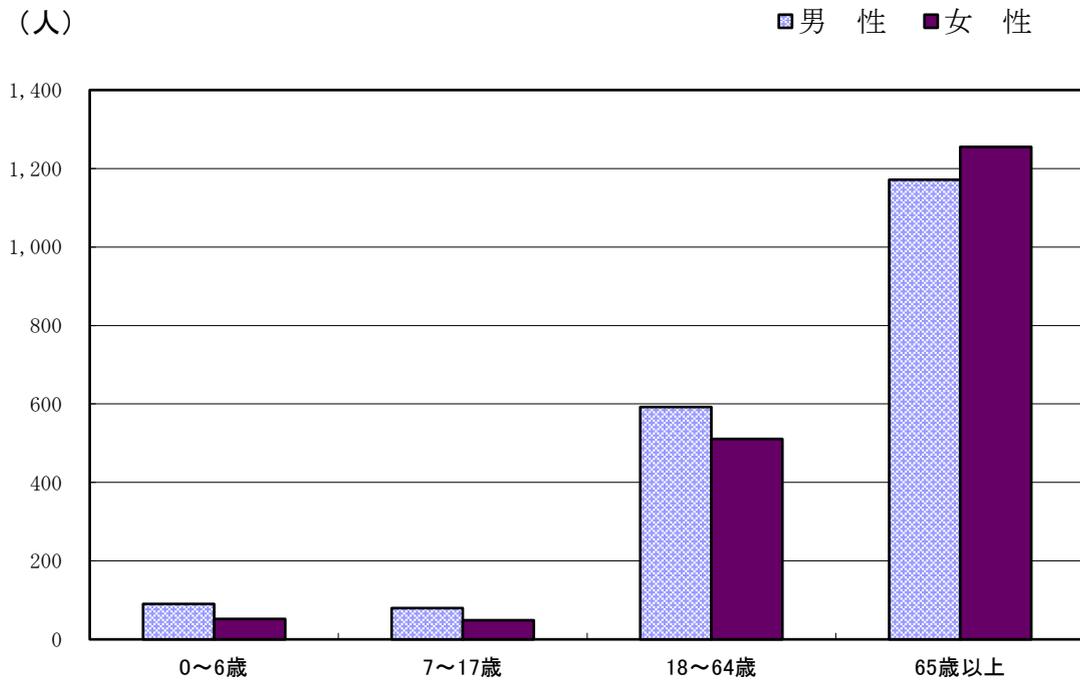
(注) 端数にあつては、小数点以下を四捨五入している。

図2 傷病程度別の搬送人員



(注) 小数点以下を四捨五入しているため、傷病程度のその他0.02%、死亡0.15%は表示上0%となる。

図3 年齢別の搬送人員



年齢 性別	0~6歳	7~17歳	18~64歳	65歳以上	計
男性	90	80	592	1,171	1,933
女性	52	49	511	1,255	1,867
計 (人)	142	129	1,103	2,426	3,800
比率 (%)	4	3	29	64	

(注) 端数にあつては、小数点以下を四捨五入している。

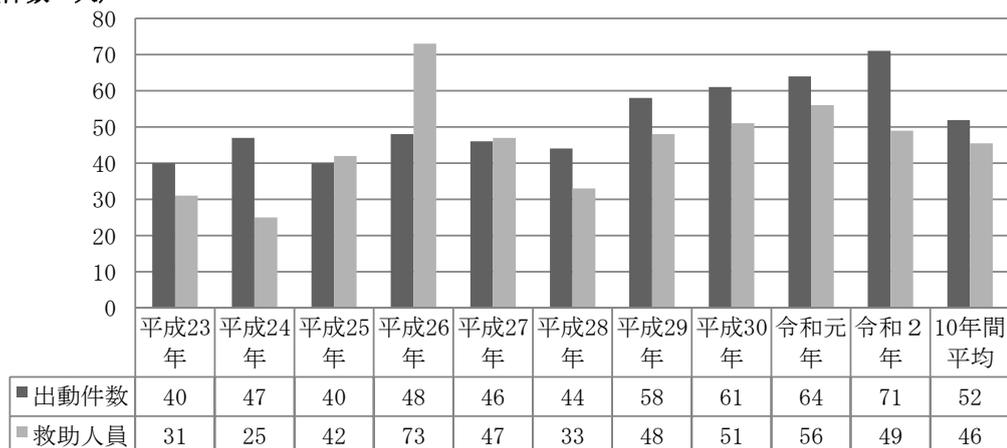
5 救助出動件数の推移

令和2年中の救助出動件数は71件、救助人員は49人で、前年に比べ出動件数は7件増加、救助人員は7人減少している。

最近10年間の平均出動件数は約52件、平均救助人員は約46人である。

最近10年間の救助出動件数及び救助人員の推移

(件数・人)

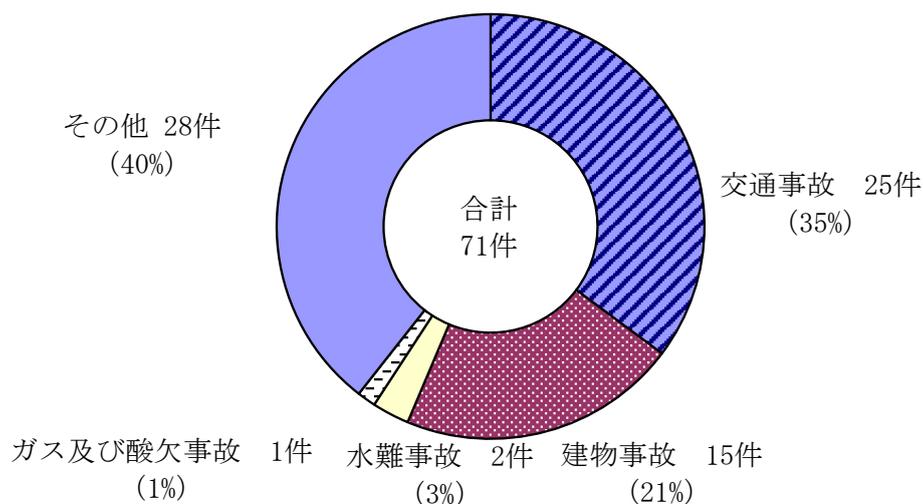


(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

6 事故種別の救助出動件数

事故種別による救助出動件数は、交通事故によるものが全体の約35%を占め、次いで建物事故、水難事故の順である。

事故種別の救助出動件数



(注) 1. 小数点以下を四捨五入している。(合計を100%とするため、その他の39.4%は小数点以下を繰り上げて40%としている。)

2. 建物事故とは、建物、門、柵、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

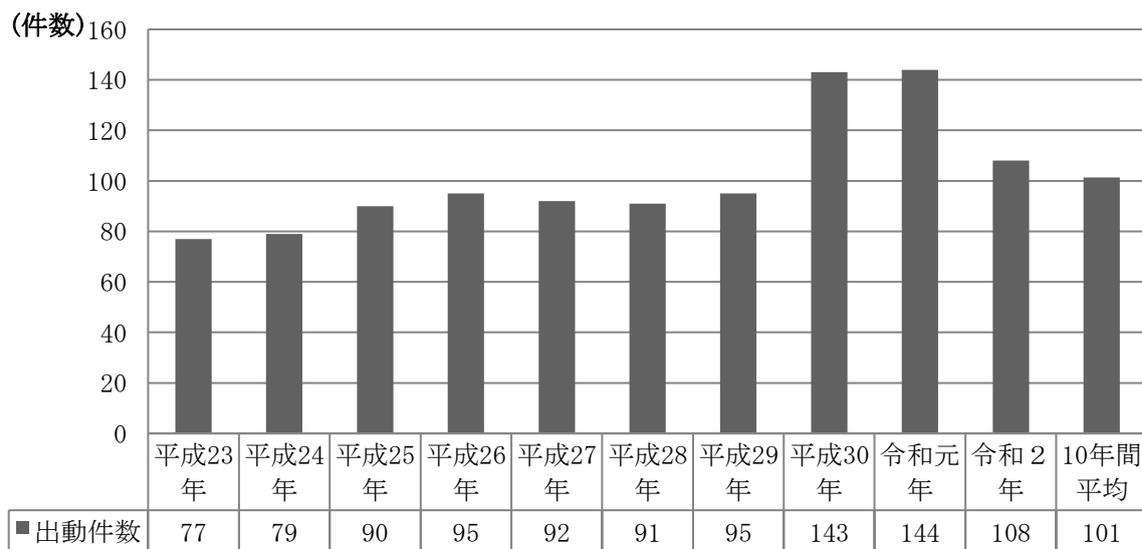
警 戒 編

1 警戒出動件数の推移

令和2年中の警戒出動件数は108件で、前年に比べ36件減少し、最近10年間の平均出動件数は約101件である。

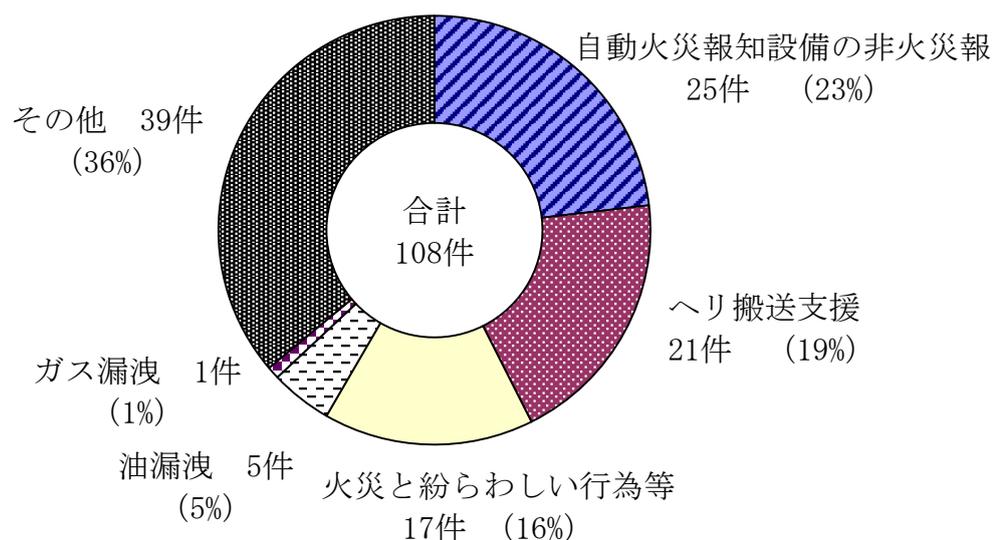
出動件数を原因別にみると、自動火災報知設備の非火災報によるものが全体の約23%を占めており、次いでヘリ搬送支援、火災と紛らわしい行為等の順である。

最近10年間の警戒出動件数の推移



(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 原因別の出動件数



(注) 1. ヘリ搬送支援とは、ヘリコプターで傷病者の搬送を依頼する場合にヘリコプター臨時離着陸場の安全を確保するため、消防隊が出動したものをいう。
2. 端数にあっては、小数点以下を四捨五入している。